

インクを用いた布の表現研究と空間演出

Research Of Space Design and Expressions That Utilise Ink On Fabric

郷土 陽南子



空間に季節の彩りを与える存在

描画用アルコールインクを用いて薄く透ける布を染める。支持体の形状と、インクの落とし方を変えることで様々な色の模様を作り出し、色の組み合わせと掛け合わせることで春・夏・梅雨・秋・冬を表現した。インクの固着によって適度なハリを生み出した布は、空間に季節の彩りを与え色の楽しさを感じさせてくれる。

Giving Colors Of Seasons

My projects looks at the utilisation of alcohol ink on thin transparent cloth for drawing. By changing the shape of the ink dropper and the way the ink is dropped, various colours and patterns can be produced. By experimenting with the colours, expressions that represent spring, summer, autumn and winter can be produced.

“色を置く” サイドテーブル

空間への布の置き方として、立体的かつちょこっと添えることのできる存在であるサイドテーブルを提案。マグネットで端を固定できるテーブルクロスと布の一体型の構造にすることで、一般的なテーブルクロスではできない掛け方ができ、ふわっと色を置いたような浮遊感が生まれる。

アクリルでできたサイドテーブルは高さが3種類。それぞれ布のたわみ具合や浮き方にも違いが出て、用途と合わせて様々な表情を楽しめる。布の流動的な性質と、インクでしか出せない模様と鮮やかな色が合わさり、不思議な魅力のあるものとなった。